

Abalance (3856) の証券アナリストレポート発行と株価への影響

当社が2020年1月9日に証券アナリストレポートを発行した Abalance 株式会社の株価がレポート発行後に3日連続のストップ高となり、非常に順調なスタートとなりましたので参考事例としてご紹介いたします。

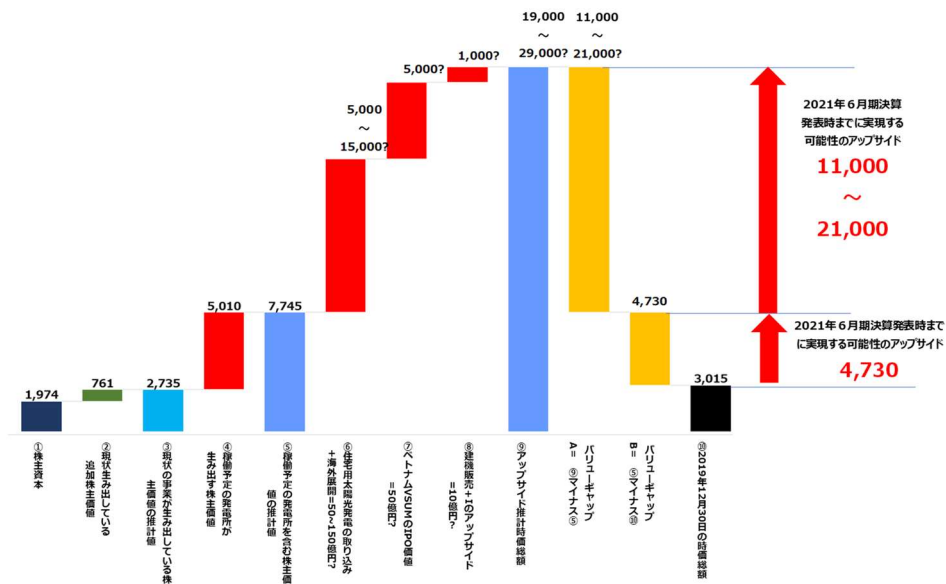


1) 背景

Abalance 社は創業は IT 事業でしたが、WWB 社の子会社化を契機にグリーンエネルギー事業を主力として経営トップ層が持つ豊富な人材ネットワークを活用し M&A、事業再編と精力的に活動をされています。しかし、競合と比較し時価総額では見劣りしている状況でした。そうした状況の中で、当社に証券アナリストレポートの発行を依頼されました。

2) 時価総額上積み推計

Abalance 社へのインタビュー等を通じて、Abalance 社の株主価値の推計を試みました。既に建設中で開示もされている太陽光発電所の生み出す価値が株価に反映されていないなど、数年で実現可能な数値でさえも株価に折り込まれていない状況でした。レポートでは、その他のアップサイド要素も含めて推定の根拠を解説いたしております。



出所) ジェイ・フェニックス・リサーチ株式会社

3) まとめ

今回の当社レポート発行後の Abalance 社の株価への反応は、当社のレポートを通じて企業様とステークホルダーを結びつける成功事例となりました。今後も、ステークホルダーの心をつかむ企業価値の創造サポートを行い、多くの企業様のお力になりたく存じます。

GCC 経営™分析レポート: Abalance 株式会社 (本文)

https://j-phoenix.com/wp-content/uploads/2018/10/3856_abalance_JPR_AnalystReport_webupload.pdf